

参加メンバー 教員：金山智子（代表） 入江経一

学生：石川琢也、鍋谷美華、高畑慧、宮坂広太郎（M2）

富塚裕美、北堀あすみ、大澤悟、蛭澤法子（M1）

### 研究概要

美濃の歴史的街区「うだつの町並み」の真ん中にある築 80 年の民家を拠点とし、イベントやワークショップ、展示などさまざまな活動を行う。各学生が、美濃の家やうだつの町並みと対話し、自分のやりたい表現を考え、企画実施している。本プロジェクトでは、表現活動を特定の地域に実装すること、地域コミュニティからの参加者や鑑賞者と交流することなど、キャンパスとは違う学びの機会となっている。2013 年度は、美濃のいえびらき、お化け屋敷、冬のプロジェクションといった IAMAS のアートやデザインを活かした創造的なイベントを行い、美濃外からも多くの人たちが訪れた。イノベーションをテーマにした車座シリーズでは、禅、落語、デジタル工作機械、ミナラジオづくりなど多様な切り口から、トークやワークショップを行い、毎回好評を博した。2014 年度は、より地域コミュニティの人たちを活動に巻き込む取組みへと展開し、コミュニティの人たちと一緒に表現活動へとつなげていった。

2014 年度の主な活動は以下のとおり。

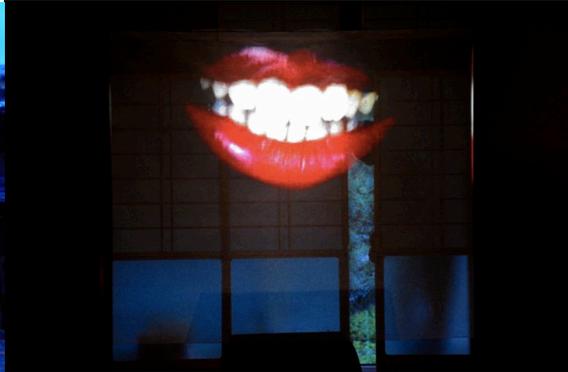
- ① 「茶処」（4 月）美濃の花御輿に合わせ、コミュニティスペースとしてオープン。
- ② 「影絵屋」（5 月）美濃のまちを影絵にした作品の展示



- ③ 「窯びらき」（6 月）庭に石窯を作り、窯のオープンイベントを開催。窯びらきの儀、窯を使った料理や家を使った音楽など、オープンな空間を創造した。



- ④ 「流しや」(8月) 室内にそうめん台を設置し、流しそうめんイベントを開催。
- ⑤ 「おばけ屋敷」(8月) プロジェクションによる映像を駆使、家を生き物のように表現した。参加者もインタラクティブできる装置を付けてもらった。2夜連続で150名ほど来場。



- ⑥ 「美濃トロック」(10月) 美濃で余ったモノや不要なモノで何かを創ったり、交換したりする試みの一つ。和紙工場から出た裁ち落とし和紙を使ったランプシェードや編み物づくり。



- ⑦ 「SWEET HALLOWEEN」(10月) 美濃トロックで創ったランプや飾りを使って家中をクモの巣のように変え、その中に隠された町のスイーツ(お菓子)を探すイベント。美濃の子どもたちが沢山参加。



上記以外にも、プロジェクトでは、大垣の風景写真を元にした「大垣色見本帖」の展示、オープンハウスでの展示を行なった。また、M2の石川君が中心となって石窯をコミュニティに向けて開放する活動も定期的を実施した。

